

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年6月11日号

送信者: 一般社団法人日本保健物理学会 <exec.off@jhps.or.jp> 2019年6月11日 18:51

---

日本保健物理学会 新 Newsletter 2019年6月11日号

---

1. 学会関連情報

○理事会・企画委員会 シンポジウム 申込み受付中！ 総会開催

2019年6月20日(木)終日～21日(金)午前中 会場:東京大学 工学部2号館213講義室

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=79>

・6月20日(木):9時30分～11時 講演 「ICRP 勧告取入れにおける国内動向」

12時～15時 シンポジウム1「合意形成における放射線防護の役割/放射線防護は合意形成をどう支援できるか？」

15時～16時 総会

17時～19時 懇親会 会場変更 →上海厨房

・6月21日(金):9時30分～12時30分 シンポジウム2「緊急時モニタリングに関する国内外動向と展望」

[総会]出欠のWEB登録へのご協力をお願いします。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=161>

○低線量リスク委員会(日本保健物理学会と日本放射線影響学会合同委員会)ワークショップ「低線量リスクに関するコンセンサスと課題の明確化」開催

2019年6月21日(金)13:30～17:00 会場:東京大学 工学部2号館213講義室 ← 上記シンポジウムの後同じ場所で開催

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/conv/page.cgi?id=82>

○第2回日本放射線安全管理学会・日本保健物理学会合同大会(12月4日(水)?7日(土)、東北大学青葉山新キャンパス)

・ウェブサイト公開 発表申込開始は2019年8月1日(木)

<http://www.2019sendaijrsm.jp/>

・Joint JHPS-SRP-KARP Workshop of Young Generation Network “The future of radiation protection profession” 12月4日開催

アブストラクト受付開始(締切:9月20日)

<http://www.2019sendaijrsm.jp/workshop/>

- 企画委員会 論文紹介記事「メタアナリシスによる線量率効果係数の推定」(紹介者:工藤 伸一会員)を公開

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/report/page.cgi?id=42>

- JAEA 大洗プルトニウム汚染事故 WG 報告書を JRP で海外に発信

J Radio Prot, Accepted Manuscript online 4 June 2019

Report of the Japan Health Physics Society ad hoc working group for the Plutonium Intake Accident

Iwai S, Sasaki M, Higaki S, Yamanishi H, Kai M

<https://iopscience.iop.org/article/10.1088/1361-6498/ab26e1>

- SRP(英国放射線防護学会)連携 2019 年会(5 月 21 日?23 日、イギリス スキャボロ)に甲斐会長と吉田 IRPA 理事が招待され出席しました。

甲斐会長“Developments in Radiation Protection in Japan, Post Fukushima”

吉田 IRPA 理事“Lessons Learnt from Fukushima”をそれぞれ講演

- 「教育現場における低エネルギー X 線を対象とした放射線安全管理に関する専門研究会」第 2 回会合

(6 月 28 日(金)16:30~18:30、東大病院・管理研究棟 2 階第 3 会議室)

連絡先 主査 大阪府立大学 秋吉: akiyoshi アット riast.osakafu-u.ac.jp(アットを@に変換してください)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=162>

- 「放射線安全文化の醸成に関する専門研究会」第 3 回会合

(6 月 19 日(水)17:00?, 東京大学 浅野キャンパス 工学部 12 号館 2 階 222 号室)

連絡先 主査 横浜薬科大学 加藤真介 s.katou アット hamayaku.ac.jp(アットを@に変換してください)

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/news/page.cgi?id=163>

- 15th International Congress of the International Radiation Protection Association (IRPA15)  
(2020 年 5 月 11-15 日、COEX, Seoul, Korea)

アブストラクト募集開始(締切: oral; 9 月 30 日, poster;12 月 31 日 )

<http://irpa2020.org/>

- 企画委員会 新 Newsletter,NL 刷新から本号まで 4 年間に合計 102 号を作成・編集・発行してまいりました。次号から新企画委員長のもと発行されます。

会員の皆様にはこれまでのご愛読に感謝申し上げますとともに、作成にあたっての企画委員  
外のサポーター及び新 NL 論文班のご協力に感謝申し上げます。

(企画委員長 吉田浩子)

## 2. 関連する研究情報

### ○英知を結集した原子力科学技術・人材育成推進事業に係る公募

国際協力型廃炉研究プログラム(日英原子力共同研究)(締切: 6月20日)

国際協力型廃炉研究プログラム(日露原子力共同研究)(締切: 6月27日)

[https://fukushimajaea.go.jp/hairo/task/2019\\_eichi.html](https://fukushimajaea.go.jp/hairo/task/2019_eichi.html)

### ○国家課題対応型研究開発推進事業「原子力システム研究開発事業」令和元年度公募(締切: 7月10日)

「安全基盤技術研究開発」及び「放射性廃棄物減容・有害度低減技術研究開発」の2分野に  
おいて新規課題を募集

<https://www.nsystemkoubo.jp/application/index.html>

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/boshu/detail/1416513.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/boshu/detail/1416513.htm)

### ○セコム科学技術振興財団 学術集会および科学技術振興事業助成の募集(締切: 7月31日)

<https://www.secomzaidan.jp/josei.html>

### ○経済産業省資源エネルギー庁 令和元年度「原子力の安全性向上を担う人材の育成事業」 (締切: 6月20日)

[https://www.enecho.meti.go.jp/appli/public\\_offer/1905/190528a/](https://www.enecho.meti.go.jp/appli/public_offer/1905/190528a/)

## (論文情報)

### ○Chemosphere, In press, Available online 31 May 2019

福島県の土壌から単離した Cs リッチ微粒子 (CsMPs) を用いて模擬肺液、超純水、人工海水の3種の溶液に対する系統的溶解実験を行った。

模擬肺液は CsMP の溶解を促進する。肺胞内に吸入され堆積する可能性がある $-2 \text{ Bq}$  の CsMP は、35年より後に完全に溶解する。

Dissolution of radioactive, cesium-rich microparticles released from the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant in simulated lung fluid, pure-water, and seawater

Suetake M et al

<https://www.sciencedirect.com/science/article/pii/S0045653519311701>

### ○Health Physics 117(1):1-12, July 2019

2,087 人の避難者の体表面汚染の GM サーベイ値から甲状腺への等価線量を推定。推定値は ENSCEAR2013 年報告の数値より小さく、甲状腺の直接測定値もしくは I/Cs 比を 3.8 と仮定して WBC の Cs 測定値から推定した値に近かった。

Estimated thyroid inhalation doses based on body surface contamination levels of evacuees after the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident

Ohba T et al

<https://journals.lww.com/health->

[physics/Abstract/2019/07000/Estimated\\_Thyroid\\_Inhalation\\_Doses\\_Based\\_on\\_Body.1.aspx](https://journals.lww.com/health-physics/Abstract/2019/07000/Estimated_Thyroid_Inhalation_Doses_Based_on_Body.1.aspx)

○Health Phys. 117(1):13?19; 2019

INWORKS に使用されている米国のハンフォードのがん死亡データを対象に、線量率効果が存在するかを、線量率を 2 群に分けてそれぞれの累積線量に対する過剰相対リスクの係数をポアソン回帰で推定して、その係数の違いを評価。線量率のカットポイントを 2mSv/年から最大 40mSv/年まで行って調べた結果、両者の係数に有意な違いは認められなかった。

Effect of Radiation Dose Rate on Cancer Mortality among Nuclear Workers: Reanalysis of Hanford Data.

Sasaki M et al

<https://journals.lww.com/health->

[physics/Fulltext/2019/07000/Effect\\_of\\_Radiation\\_Dose\\_Rate\\_on\\_Cancer\\_Mortality.2.aspx](https://journals.lww.com/health-physics/Fulltext/2019/07000/Effect_of_Radiation_Dose_Rate_on_Cancer_Mortality.2.aspx)

○PLOS ONE Published: May 31, 2019

2016 年 8 月に無作為に抽出した福島県民 2000 人を対象に郵送法の調査を実施。放射線健康不安と情報との関連を検討。重回帰分析の結果

「政府省庁を信用する」群と「地元民放を利用する」群で不安が有意に低く、「NGO 等を信用する」群と「ネットサイトを利用する」群で不安が有意に高かった。

それぞれの情報の傾向の違いが、住民の不安の程度に影響したと考えられた。

Lingering health-related anxiety about radiation among Fukushima residents as correlated with media information following the accident at Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant

Nakayama C et al

<https://doi.org/10.1371/journal.pone.0217285>

○Nuclear Technology 205:5, 646-654 May 2019 DOI: 10.1080/00295450.2018.1521186

福島第一原発事故後の Te-129m の表面沈着パターン推定のためのシミュレーションモデルを開発。このモデルを用いて環境モニタリングデータから Te-129m 放出のタイミングと強度を逆推定。Te-129m 放出の推定時間と放射能は Te-129m が主に三号機から放出されたこと

を示唆。

Estimation of the Release Time of Radio-Tellurium During the Fukushima Daiichi Nuclear Power Plant Accident and Its Relationship to Individual Plant Events

Takahashi S et al

<https://www.tandfonline.com/doi/full/10.1080/00295450.2018.1521186>

### 3. ニュースや社会の動き

- 福島県民健康調査検討委 甲状腺検査本格検査(検査 2 回目)結果に対する部会まとめ  
「甲状腺がんと放射線被ばくの関連は認められない」との見解

<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/330479.pdf>

- Int J Radiat Biol. 2019 Apr 9;1-43. doi: 10.1080/09553002.2019.1605464.

水晶体等価線量限度引き下げに関して、2017 年後半以降の日本国内での議論や関連する水晶体研究について総説発表 (Yokoyama S et al)

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pubmed/30964367>

- 第 37 回(2019 年度)大阪科学賞受賞候補者の推薦募集(締切: 7 月 1 日)

[http://www.ostec.or.jp/ostec\\_wp/pdf/kagakusyou/osaka\\_prize.html](http://www.ostec.or.jp/ostec_wp/pdf/kagakusyou/osaka_prize.html)

- カナダ放射線防護学会(CRPA)主催 Webinars on dosimeters for the lens of the eye #3 を実施(6 月 6 日)

<http://nuclearsafety.gc.ca/eng/acts-and-regulations/consultation/history/dis-13-01-webinar.cfm>

### 4. これからのイベント

- ONPO法人放射線教育フォーラム 令和元年度第1回勉強会(6月16日、東京慈恵会医科大学)

<https://ref.or.jp/file/20190616.docx>

- 放射線照射利用促進協議会(JAPI) 2019 年度第一回講演会(6 月 25 日、京都教育文化センター)「放射線とがん治療?がん治療の最前線?」

[http://www.taishitsu.or.jp/JAPI/news/news\\_index.html](http://www.taishitsu.or.jp/JAPI/news/news_index.html)

- 東京工業大学先導原子力研究所 2019 年度研究交流・発表会(6 月 26 日、東工大大岡山キャンパス)

<http://www.lane.iir.titech.ac.jp/atom2019/>

- 日本アイソトープ協会 第56回アイソトープ・放射線研究発表会(7月3-5日、東大弥生講堂)  
プログラム公開

[https://www.jrias.or.jp/isotope\\_conference/program/index.html](https://www.jrias.or.jp/isotope_conference/program/index.html)

- 放射線計測研究会第73回研究会(7月6日、三菱総合研究所 CD会議室)  
「医療用放射線施設の放射線分布と遮蔽設計」・「粒子線治療におけるリアルタイム線量撮像  
機器の開発と現状」

<https://sites.google.com/site/radmeas/>

- 日本原子力学会原子力安全部会「新検査制度と原子力発電所の安全性」フォローアップセミナー(7月16日、東京大学)参加申込:7月11日まで

[http://www.aesj.or.jp/~safety/main\\_kikaku\\_followup.html](http://www.aesj.or.jp/~safety/main_kikaku_followup.html)

- [再掲]国際シンポジウム ISORD-10 (7月16-19日、中国太原) IRPA 会長の Roger 氏が招待講演

<http://www.isord-10.org.cn/>

- 早稲田大学レジリエンス研究所(WRRI)早稲田大学・科研バックエンド問題研究会 第13回ワークショップ「バックエンド問題と世代間公平性を考える」  
(7月19日、早稲田大学(早稲田キャンパス))

[https://www.waseda.jp/gsaps/wiaps/public\\_lectures/](https://www.waseda.jp/gsaps/wiaps/public_lectures/)

- 中部原子力懇談会 エネルギー・環境研究会セミナー(7月27日、名古屋商工会議所)

<https://www.chugenkou.org/wp-content/uploads/2019/03/da88045a3bb085738e6f2767b4cf7d2d.pdf>

- 日本エネルギー環境教育学会 第14回全国大会(8月5-7日、高知工科大学)発表申込:6月14日まで

<https://www.jaeed.jp/>

- SPring-8 シンポジウム 2019(8月30-31日、岡山大学)

<http://www.spring8.or.jp/ja/science/meetings/2019/sp8sympo2019>

- 第10回エネルギー理工学研究所国際シンポジウム(9月4-6日、京大宇治キャンパス)

[http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/zero\\_emission/information/2019/04/09-083600.html](http://www.iae.kyoto-u.ac.jp/zero_emission/information/2019/04/09-083600.html)

○大学等放射線施設協議会 大学等における放射線安全管理研修会(9月6日、東京大学弥生講堂)

<https://shisetsu.ric.u-tokyo.ac.jp/kenshu-z19.html>

○日本原子力学会「2019年秋の大会」(9月11-13日、富山大学五福キャンパス)(発表申込は6月6日に終了)

<https://confit.atlas.jp/guide/event/aesj2019f/top>

○Joint International Conference on Supercomputing in Nuclear Application + Monte Carlo 2020 (2020年5月18-22日、千葉)

アブストラクト募集開始(締切:2019年8月31日)

<http://snamc2020.jpn.org/>

○環太平洋原子力会議 PBNC2020(2020年4月26-30日、メキシコ カンクン)フルペーパーの投稿締切:10月15日

<http://www.pbnc-2020.mx/>

#### 5. 公募情報、学生・ポスドク受入情報

○熊本大学 医療技術科学分野 医用画像科学講座 教授 1名(放射線技術科学に関する教育研究分野)常勤・任期なし(締切:6月14日)

<http://www.medphas.kumamoto-u.ac.jp/recruit/index.html>

○量子科学技術研究開発機構 量子医学・医療部門 高度被ばく医療センター 計測・線量評価部

研究職 1名(東京電力福島第一原子力発電所の放射性廃棄物の特性評価に関する検討)非常勤・任期あり(締切:6月17日)

<https://www.qst.go.jp/site/fixed-term/25351.html>

○鹿児島県職員 原子力技術職員採用選考試験(採用予定人員:1名(昭和55年4月2日以降に生まれた者))

締切:6月21日(持参、郵送の場合)もしくは6月19日(オンライン))

<http://www.pref.kagoshima.jp/ab01/kensei/saiyo/shiken/senkou/r1shiken/sonota.html>

○京都大学 医学研究科 遺伝医学講座 分子遺伝学分野 助教 1名、研究員 2名

(精子幹細胞の繁殖能力の宇宙放射線耐性の解明)常勤・任期あり(締切:6月28日)

[https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119051349&ln\\_jor=0](https://jrecin.jst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119051349&ln_jor=0)

○福島県立医科大学 保健科学部 診療放射線科学科 総合画像検査技術学分野 助手 1名  
常勤・任期あり(締切: 6月28日)

<https://fmu-hs.jp/recruit.html>

○日本医療科学大学 診療放射線学科 教授または准教授 1名、准教授または助教 1名  
常勤・任期なし(締切: 6月28日)

[https://www.nims.ac.jp/saiyo/pdf/rt\\_0520.pdf](https://www.nims.ac.jp/saiyo/pdf/rt_0520.pdf)

○大分大学 医学部医学科 放射線医学講座 教授 1名 常勤・任期あり(締切: 6月30日)

<http://www.med.oita-u.ac.jp/kyujin/20190531hosyasen-kyoju/20190531hosyasen-kyoju.pdf>

○福島大学 環境放射能研究所 特任准教授 1名及び特任助教又は研究員 1名(放射能環境  
動態、計測・分析に関する分野)常勤・任期あり(締切: 7月16日)

[http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o\\_recruitment\\_kyoujyu-4.html](http://www.ier.fukushima-u.ac.jp/web/o_recruitment_kyoujyu-4.html)

○近畿大学 生命科学科 講師または助教 1名(分子生物学実験(放射線分野)など) 常  
勤・任期なし(締切: 7月19日必着)

<https://www.kindai.ac.jp/files/about-kindai/employment/teachers/science/20190520-06.pdf>

○京都大学 複合原子力科学研究所 粒子線基礎物性研究部門 教授 1名(研究用原子炉や  
加速器を用いた量子ビームの利用と物質科学研究)

常勤・任期なし(締切: 7月26日必着)

[https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/professor\\_20190419\\_ja.pdf](https://www.rri.kyoto-u.ac.jp/wp-content/uploads/professor_20190419_ja.pdf)

○電力中央研究所 原子力技術研究所 放射線安全研究センター 研究員 1名(放射線防  
護のための放射線リスク評価と最適化研究)

常勤・任期なし(締切: 7月31日必着)

<https://recruit.denken.jp/kadai/post-274/>

○駒澤大学 医療健康科学部 診療放射線技術科学科 講師または助教 1名 常勤・任期  
なし(締切: 8月19日必着)

<https://www.komazawa-u.ac.jp/recruit/2019/0523-7911.html>

○島根大学 総合科学研究支援センター 生体情報・RI実験部門 技術職(RI施設の管理・保  
守業務、生体情報・RI実験部門における受託解析)



常勤・任期なし(締切: 8月30日必着)

[https://www.med.shimane-u.ac.jp/\\_files/00095488/20190830ri.pdf](https://www.med.shimane-u.ac.jp/_files/00095488/20190830ri.pdf)

○大阪物療大学 保健医療学部 教授、准教授、講師、助教 各若干名(放射線技術学実習・X線撮影技術学等)

常勤・任期あり(締切: 9月30日必着)

[http://www.butsuryo.ac.jp/gakuen/recruit/index\\_test.html](http://www.butsuryo.ac.jp/gakuen/recruit/index_test.html)

○放射線影響研究所 分子生物科学部 全て常勤・任期あり(締切: 9月30日必着)

・研究員 1名(放射線被曝による体細胞変異と発癌の分子メカニズムの解明と、それに対する防護法開発のための研究)

[https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119050912&ln\\_jor=0](https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D119050912&ln_jor=0)

・分子遺伝学研究室 研究員 1名(原爆被爆者および被爆二世のゲノム解析技術開発)

[https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101428&ln\\_jor=0](https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101428&ln_jor=0)

・細胞生物学研究室 研究員 1名(原爆被爆者における放射線発がんの発症機構研究、動物モデルによる放射線発がん分子機序に関する研究)

[https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101426&ln\\_jor=0](https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101426&ln_jor=0)

・細胞遺伝学研究室 研究員 1名(放射線被ばくによる精原幹細胞の突然変異成立メカニズムを in vitro および in vivo 動物モデルにて解析)

[https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101427&ln\\_jor=0](https://jrecinjst.go.jp/seek/SeekJorDetail?fn=3&id=D118101427&ln_jor=0)

既発行の新 Newsletter はこちらです。

<http://www.jhps.or.jp/cgi-bin/newsletter/page.cgi>

新 Newsletter にて発信を希望する情報をお持ちの方は、学会事務局へご連絡・お問い合わせください。

— . . . . . —  
【発行】一般社団法人日本保健物理学会

【編集】同企画委員会

【発信元】同学会事務局

TEL: 03-6205-4649 FAX: 03-6205-4659

E-mail: [exec.off@jhps.or.jp](mailto:exec.off@jhps.or.jp)

— . . . . . —